

# みのりあるめぐろ



モノ言う  
看護師!  
区民の命と暮らしを守る

うえだ  
**上田みのり** 目黒区議会議員  
都民ファーストの会 区政報告

## Profile

プロフィール

- 中学2年生で看護師になることを決意し、聖マリア学院短期大学を卒業、その後は福岡県内の病院勤務
- 2017年上京、救命救急現場ののち、東京都コロナ対策事業勤務
- 看護師教育責任者、医療コンサルタント、看護専門学校非常勤講師など
- 目黒区議会議員に初当選(2023) / 看護師経験を生かし区民の命と暮らしを守る



初登壇で緊張している姿

## ごあいさつ〈一般質問初登壇〉

皆様方には日頃より多大なるご支援・ご協力を頂いておりますことに心より感謝申し上げます。

目黒区議会第3回定例会のご報告です。本定例会で初めて一般質問を行いました。どの政策においても看護師ならではの視点で、課題や解決策を提案することが私の使命だと思っています。本定例会を通し各部署との沢山の意見交換もでき貴重な時間となりました。

目黒区議会議員 **上田みのり**

## 一般質問ってなあに?



一般質問は、議員が区長へ直接質問を行う機会であり、政策的提言や行政の課題について話をするすることができます。持ち時間も決まりがあり、会派の場合は人数×15分で計算し、合計時間を自分たちで割り当てることができます。決まり事として、1回の質問時間を最低30分以上行うことになっています。今回、私は35分の一般質問を行いました。行政側の答弁は本音と建て前があります。例えば、「検討します」と言われた場合は実施する可能性があります、「調査・研究いたします」と言われた場合、当面実施予定はないこと、取り組むことにしばらく時間がかかること、を意味します。この辺りを意識して、ぜひアーカイブを視聴してみてください。

## こんな活動もしています



プレイパークでのボランティア活動



中目黒夏まつり 救護班活動



消防団3分団に 入団しました



さんま祭りで AB (+) 400ml 献血



時々出没 街頭活動

# モノ言う看護師議員 上田みのりの保健室

## 一次救命処置について

看護師の視点から、AEDの設置は単に台数を増やすことだけではなく、一次救命処置 (Basic Life Support) が実施できる人を増やすことが重要であると説明しました。また、極端な空白地域には設置を検討し、24時間利用できない場所には設置方法を検討するよう要望しました。

元総理の事件や議会での注目により、設置個所のわかりやすさや聴覚障害対応の機種への交換など細やかな対応はされたようです。今後も、救命率の地域や時間の格差を埋めるためにも、更なるAEDの設置拡大と行動できるバイスタンダーの育成が必要です。一次救命処置の講習を受けることは非常に重要です。現場への救急車到着までの平均時間は約9.4分 (R3年総務省調査) であり、心肺蘇生を行った一般市民の割合は57.5%です。心肺蘇生を行わなかった場合と比べ、1か月後の生存数は2倍、社会復帰率は3倍というデータがあります。つまり、病院に運ばれるまでが命の勝負です。20年のベテラン看護師として改めて感じます。命の危機に立ち向かう瞬間は、いまだに手足が震えるほど緊張します。そのため、いざという時のために、講習を繰り返し受けることが重要だと思います。

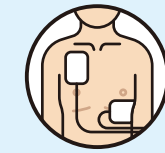


## AEDの使い方

AEDにはいくつかの種類がありますが、基本的な操作手順は変わりません。



step 1  
電源ボタンを押す



step 2  
パッドを貼る



step 3  
ショックボタンを押す

## 看護師議員からの一次救命処置クイズ (答えは、左下に書いています。)

- 1 倒れている人を発見
- 2 周囲の安全確認
- 3 倒れている人の ( ① ) を叩いて、「大丈夫ですか、大丈夫ですか」
- 4 人を呼ぶ「誰か来てください」
- 5 指示をする
  1. 「救急車 ( ② ) 番を、呼んでください!」
  2. 「 ( ③ ) を持ってきてください!」
- 6 正常な呼吸があるかを確認 (10秒以内、はっきりしなければなしと判断) なければ即胸骨圧迫 (心臓マッサージ) 開始
- 7 胸骨圧迫 (心臓マッサージ) 速さは、 ( ④ ) ~ ( ⑤ ) 回/分、深さは ( ⑥ ) cm
- 8 AEDがあれば音声指示に従い実施 —ショックボタンを押す前に患者から離れていることを確認— ショック後は、すぐに胸骨圧迫 (心臓マッサージ) を再開



いかがでしたか?あなたの知識と行動が、誰かと誰かの大切な人を救います!!

5 ← ⑨ 021 ← ⑤ 1001 ← ⑦ 034 ← ③ 611 ← ② 11 (の411取付目) ← ① ㊦

Mobile ▶ 050-3551-2151 (上田) minori.ueda1203@gmail.com

発行元 / お問い合わせ先

上田みのり



上田みのりホームページ  
uedaminori.com



LINE 公式アカウント  
健康に関するお役立ち情報  
メッセージもお気軽に

## 一般質問



一般質問アーカイブ



公園クリーンアップ活動をしているワンTEAM

フェーズフリーとは、平常時と災害時の違いを取り払い、商品やサービスが災害時に有効に使えるようにする概念です。

## ペット共生社会における 犬の公園利用ルールについて

来年度、目黒区では10年ぶりに公園等の利用実態調査を実施することを検討しているとの答弁をいただきました。現在は公園利用のルールの見直しは考えていないが、ドッグランの設置について、条件付きでの実現可能性については調査研究をしていくと答弁頂きました。犬に関しては多く課題もありますが、災害時には制限は難しいため、「フェーズフリー」な取り組みが重要です。できるためにはどうするかを考え続ける目黒区をつくりたいと思っています。私はあきらめません！

## 早期発見・治療のための 認知症施策

令和6年度  
実施に向けて検討中

認知症検診について、令和6年度実施の検討が進んでいるとの答弁を頂きました。私の公約の1つであり、認知症は進行性の病気であるため、早期発見・早期治療が重要です。この区の動きは大変うれしいです。認知症検診では医師会や専門医療機関との連携が必要であり、また、検診後のアフターフォロー体制も重要です。また、検診事業を行うだけでなく、認知症になっても自分らしく過ごせるよう、症状の進行を少しでも遅らせるために、「予防」と「共生」の両輪をしっかり回していく体制整備にも取り組んでいきます。引き続き進捗確認を行っていきます。

## 性感染症と検査の 普及・啓発

最近では性感染症がよく話題になっていますが、性交渉があれば誰でも感染するリスクがあります。目黒区の保健所では、HIVや梅毒だけでなく、性感染症の中で最も多い性器クラミジア感染症についても、匿名で相談や検査ができるようになっています。性感染症は女性にとっては不妊症や胎児への垂直感染のリスクがありますが、無症状の場合が多く気づきにくい特徴があります。早期発見・早期治療は、子どもを授かりたい人や若者の未来を守るために重要であり、少子化対策の一環としても意義があると思います。



厚生労働省女子



厚生労働省男子

## 決算特別委員会

決算特別委員会で述べた、私の質問や考え方をご報告します。

## 総務費:LGBT相談

令和4年度のLGBT関連支出総額は169万1千円でした。人権政策の成果は、当事者が心身が救われたと感じることや、生きづらさが緩和されること、笑顔が増える、楽しいと感じること、つまり数字で見える化するものではありません。私の公約であるパートナーシップ制度の推進についても大きく前進しました。本定例会では、東京都のパートナーシップ宣誓制度を活用して「男女等共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくり条例」に基づき、区営住宅の申し込み手続きが可能になっていきますが、区有施設の新設や改修においても性の多様性の視点を忘れずに取り組むことが重要であり、全力で誰もが生きやすい社会の実現に取り組みます。



宣誓・届出  
○パートナーシップ関係にあるお二人が、オンラインで必要書類を提出  
○東京都は、提出内容に不備が無いことを確認の上、受理証明書をオンラインで交付  
※ 希望に応じて、特記事項欄に「通称名」や「子の名前」の記載も可能

パートナーシップ関係  
変更届  
○住所等の変更又は死亡時は届出が必要

受理証明書再交付  
○利用者の申請により、最新の日付の受理証明書をオンラインで交付

その他の手続き  
○パートナー関係を解消した場合は、届出が必要  
○転居、転職又は卒業等により双方が要件を満たさなくなった場合は、届出が必要  
※ いずれの手続きも、どちらか一方からの届出で可。



総務費



パートナーシップ制度

## 都市整備費

防災対策は、災害の発生時の対応だけでなく、災害に強いまちづくりが重要です。公園整備や道路の改修、透水性や水循環を意識した舗装などを行うことで、豪雨にも対応できるまちになることができます。ただし、インフラ整備はコストがかかりますので、プラスアルファの効果も見据える必要があります。サステナブルで賢い支出を行うインフラ整備の進め方について、要望したいと思います。



## 感染症対策費

コロナ前の2019年から2022年度の支出積み額には差がありました。目黒区では延べ83万回以上のコロナワクチン接種が行われ、その間も他の業務も継続しています。感染症は今後も存在し、感染拡大と収束を繰り返すでしょう。しかし、われわれはこの1200日の経験を通じて必要な対策を学んできました。だからこそ、行政はEBPM(エビデンスに基づく政策立案)に基づいた正確な情報をリアルタイムで提供し、区民が安心して意思決定できる環境を作りたいと考えます。



コロナ後遺症情報



目黒区コロナ情報

～5月8日から新型コロナウイルスの感染上の特徴が変わります～  
発熱などの症状が出たら

医療機関に行く前に  
■症状や常備薬を確認  
■国が承認したキットで自ら検査

受診する際は、事前に医療機関に連絡しましょう

受診した場合は

■東京 新型コロナウイルス相談センター